



教育 GP ニュース 第5号

1) 長岡技術科学大学 新原学長 本校を訪問 (北野准教授)

・2月3日(水)に長岡技術科学大学の新原皓一(にいほら こういち)学長が本校を訪問されました。まず校長室で、本校の概要と本年度採択された教育GPの説明を行いました。その後、ゼミナール室で希望学生に対してご講演いただき、最後に校内を見学していただきました。ご講演内容としましては、ご自身の少年時代から現在の長岡技術科学大学学長に至る経歴の中からいくつかのエピソードを元に、経験に基づいた若い人への熱いメッセージを頂戴しました。先生の熱のこもった講演に引き寄せられるうちに、あっという間に時間が経っていました。寝ている学生は1人もいませんでした。聴講者は4年生を中心に約30名でした

2) 福井大学(本田知己准教授)への訪問調査(土井准教授)

・2月16日(火)に福井大学大学院工学研究科機械工学専攻本田克己准教授を訪問しました。福井大学も本校と同じく平成21年度に教育GP「学士力涵養の礎となる初年次教育の充実」が採択されました。それを受けて今回、本田先生と土井准教授で、情報交換を行いました。福井大学では、初年次教育に重点を置いたものづくり教育を実践されており、本校の教育GPと共通した課題も多く、今後も情報交換等行い交流を深めたいことを伝えました。

3) 2月17日(水)香川高専(詫間キャンパス)への訪問調査及び広報活動(北野准教授)

・香川高専は、昨年10月に高松高専と詫間電波高専が統合して開校した「スーパー高専」の1つです。校長は両キャンパスで1名、それぞれのキャンパスに主事とは別に副校長が配置されています。当日は、詫間キャンパス担当の副校長(高木先生)に應對いただきました。香川高専(詫間キャンパス)は、平成18年度に現代GP「ものづくりによる地域連携プログラム ―学生・教職員・地域一体となった理科離れ対策・地域活性化・高齢者対策―」が採択されており、平成21年度には教育GP「学生主体のベンチャー創出プログラム ―学生・教職員・地域一体となった高専発ベンチャー創出へ―」が採択されています。両方とも取組責任者は同じ方で、教育GPは、平成18～20年度に行われてきた現代GPを発展的に継続させる形で申請書が作成されています。そもそものきっかけは、地元の幼稚園や小学校でレゴマインドストームを使った出前授業だったそうです。それが地元の少年少女発明クラブを巻き込み、中学校を巻き込み、地元の自治体や企業を巻き込む形で、どんどん拡がりを見せ、学生が作成したお茶サービスロボットは、地元のイベントはもちろん、平成20年10月に大阪駅前で開催された「四国観光展」でも好評だったそうです。「大事なことは、学生に企画させることだ」とおっしゃっていました。詫間電波高専は高専ロボコンの強豪校であり(第2回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞も受賞)、プロコンも2年連続優勝校です。このロボコン・プロコンの成果を、出前授業を始めとする地域連携に使ううちに外部資金が取れ、地元企業の理解が得られ、専攻科の特別研究やインターンシップに広がっていったというお話がありました。最後に「これからますます教員は忙しくなる。GPも学生がどんどん前へ出て、学生の力を借りてやっていく仕組みを作らないとやっていけない。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

4) 北海道大学（高橋英樹教授）への訪問調査（東田准教授）

・2月18（木）日に北海道大学総合博物館に出張し、「博物館を舞台とした体験型全人教育の推進」の教育 GP の昨年度並びに今年度の進捗の調査を行ってまいりました。こちらでは博物館の施設を利用した全人教育として、導入科目（北大エコキャンパス-植物学入門など）、ステップアップ科目（パラタクソノミスト養成講座など）、社会体験型科目（GP 関連科目支援活動など）のそれぞれの分野から4クレジット以上のポイントを得て、基準 GPA をクリアしてミュージアムマイスターを目指すというシステムです。希望者が主体となりますので、みな積極的に活動しており、Tシャツの作成では有志学生が博物館の資料をデザインし、デザイナーのコメントを頂きながら完成させ、製作販売まで行うなど学生の自主的な GP 支援活動が行われていた事が印象的でした。また本校の GP は全員参加型であり、大変実践的であるとの評価を得ました。GP パンフレット20部を配布しました。

5) NP0法人C-KEEPへの報告と協力依頼（伊藤教授・土井准教授）

・2月18日（木）寝屋川市駅前・にぎわい創造館において開催された、C-KEEP 2 月度理事会に伊藤諷二教授、土井准教授が出席し、地域交流メッセへの参加協力依頼と本年度の GP 取り組みの報告コメント協力御礼及び次年度の連携依頼をして参りました。

6) 総合工学実験実習IV伝承会を開催（総工IV担当教職員）

・2月24日、本年度から始まった、5年が取り組んだ総合工学実験実習IVの卒業製作について、各プロジェクトリーダーから次年度卒業製作を行う4年生に対して、実験時に留意する点やプロジェクト開発により得られる経験の意義等を5年生自身のことばで伝えました。なお、4年生には、次年度も継承したい製作物やテーマについて調査を行いました。

7) 本校の教育GPに関するホームページを開設（教育GPプロジェクト）

・2月13日、「総合的な科学技術力を育成する実験実習」を開設いたしました。本年度中に実施体制や細部の修正をしたいと思っておりますがお気づきの点などあれば、土井まで、ご連絡下さい。

<http://www.ct.osakafu-u.ac.jp/edu/GP/>

8) 教育GPパンフレットを作成（教育GPプロジェクト）

・本取組のパンフレットが完成しました。初回5000部を印刷しましたので会合等に必要の方は教育GPプロジェクト(info-gp@osaka-pct.ac.jp)まで必要な部数・会合名・配布予定日等をご連絡ください。



4年生全員へメッセージを伝える5年生



5年生の話を聴く4年生

【2010/2/24 総工IV伝承会の様子】